

② 神戸市視察研修のまとめ

① 行程

日程 平成24年5月25日

目的 神戸市災害備蓄品保管場所の見学と研修

行き先 ・勤労会館（指定収容避難所 地域備蓄拠点）

・神戸震災復興記念公園（総合備蓄拠点）

講師 神戸市産業振興局職員の皆様



② 神戸市の現物備蓄について

神戸市は、市内の各備蓄拠点において、現物備蓄を行っています。

阪神大震災の発生の翌年より、市内の指定収容避難所を中心に、200～400人分の物資を備蓄し、平成25年4月1日現在で284箇所に整備が完了しているとのことでした。震災の経験により、『手に届くところに備蓄する』ことの重要性を感じたためです・・・と説明してくれました。

神戸市は従来の「拠点型備蓄」に加え、「分散型備蓄」を行っています。災害時には、指定避難所の物資が不足してきた時に、総合備蓄拠点から補充を行うということです。

災害備蓄品は、公的な施設だけではなく、民間の建物にも備蓄品を保管してもらうよう協力要請を行っているとのことでした。

保管場所については、特に管理された場所ではなく、ボイラー室等で保管してもらっているそうです。



8	体育館・トレーニング室・更衣室
7	大ホール 会議室 701・702
6	会議室 和室 音楽室 工作室 サークル室 203・4・5
5	多目的ホール受付 事務室 研修室 ロビー 101の受付ホール 視聴覚室 青少年団体活動室
4	特別活動室 公民館図書 読書室 403・404・405・406 会議室 407・408・409 子供室
3	会議室 302・303・304・305・306・307 多目的 神戸労働者福祉協議会 講義室 308
2	多目的ホール 会議室 201・202 多目的ホール 受付 備品庫
1	図書館
B1	事務室 防災センター 作業員控室



出先で災害に遭うことも想定されるため、避難所には食糧備蓄が大切だと神戸市では考えられています。災害備蓄品の管理は産業振興局が担い、賞味期限の切れる半年前に、防災訓練や消防出初式で市民に配っているそうです。その際には、備蓄品に家庭での備蓄を啓発するシールを貼ることで、「市民備蓄」の大切さを訴えているとの説明がありました。

平成24年度備蓄在庫一覧表

施設名：神戸市勤労会館 7階機械室

番号	納品日	品名	数量	ケース数	総数
1	平成24年3月6日	生理用品 ソフィ 34枚	10	1箱	340
2	平成24年3月6日	紙おむつ ムーニー 新生児 90枚	1		90
3	平成24年3月6日	紙おむつ ムーニー S 81枚	1		81
4	平成24年3月6日	紙おむつ ムーニー M 64枚	1		64
5	平成24年3月6日	紙おむつ ムーニー L 54枚	1		54
6	平成24年3月6日	紙おむつ ライフノーテープ止め M	1	1箱	20
7	平成24年3月6日	紙おむつ ライフノーテープ止め L	1		17
8	平成24年3月20日	毛布	10枚入	20箱	200
9	平成24年3月23日	アルファ化米 100g	50個入	2箱	100
10	平成24年3月23日	保存水 500ml	24本入	9箱	216
11	平成24年3月23日	缶詰	24個入	9箱	216
12	平成24年3月23日	クラッカー 26枚入	70個入	2箱	140
13	平成24年3月23日	レスキューシート 20枚入×10		1箱	200

